くみあいNEWS

第１５２６５号
2021年10月25日(月)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

日本製鉄和歌山労働組合第9回定期大会を開催

2021年10月9日(土)、日本製鉄和歌山労働組合第9回定期大会を代議員71名参加のもと開催しました。

平井、玉井両議長のスムーズな進行により大会は進められ、第1号議案「第53期運動方針に関する件(案)」に対しては、コークス支部、薄板支部、小径製管支部、大形支部、ならびに青年女性部より補強意見が出されました。

第1号議案「第53期運動方針に関する件(案)」、第2号議案「2022年度会計予算に関する件(案)」の全てについて賛成絶対多数により可決・決定されました。



玉井議長(左)　平井議長(右)



日本製鉄労働組合
連合会会長
青雲　啓至 氏



連合和歌山会長、こくみん共済
coop和歌山推進本部本部長
池田　祐輔 氏



和歌山市議会議員
寒川　篤 氏

本大会に華をそえていただきました ご来賓の方々を紹介します



基幹労連
第26回参議院議員選挙
擁立候補予定者
村田　きょうこ 氏



衆議院議員(和歌山1区)
岸本　周平 氏

和歌山労組は、第53期運動方針ならびに2022年度会計予算に基づいて活動を展開して参ります。組合員の皆様におかれましては、引き続きご支援ご協力をよろしくお願いします。

第9回定期大会 組合長挨拶（要旨）


山本組合長

〈安全と健康の確保〉

和歌山・堺・海南各地区においては、休業災害は発生していないものの、不休・軽処置災害が直協問わず頻発しており、予断を許さない状況です。どうかルール厳守、ＫＹの徹底、作業者同士の声かけ、６則違反の撲滅など、ご自身と仲間を守るために愚直な安全行動を実践して下さい。労働組合としましては、製鉄所各門での安全立哨や職場パトロール等を通じて働く仲間への声かけ、また労使話し合いの場における安全確保への更なる推進に向けた要請など、安全に対する役割と責任を果たして参ります。

〈経営諸施策への対応〉

関西製鉄所和歌山地区では日本製鉄グループの中長期経営計画で示された休止ラインの一部が実行されました。長年にわたり操業・整備を担って頂いた組合員の心情を慮ると心苦しいばかりですが、国内製鉄事業の再構築を果たし、将来にわたり収益力のある中核製鉄所として存在し続けるための生き残りをかけた経営戦略と受け止めています。

今後は薄板の全ラインや海南小径シームレス西ミルラインの休止が予定されており、更なる痛みを伴う施策と向き合わなければなりませんが、安定した経営基盤の確立をめざすことが組合員の生活の安心・安定に直結するとの好循環理論のもと、経営諸施策の課題と真摯に向き合って参ります。

〈ＡＰ 22 春季取り組み〉

２年サイクルの「総合改善年度」として、まずは 12 月に開催される日本製鉄労連の討論集会に向けて、和歌山労組として人事処遇制度改訂も踏まえながら各支部との連携により議論して参ります。ワーク・ライフ・バランスの観点では、実労働時間の削減や年休取得率の向上はもとより、フレックス勤務、テレワーク等の働き方改革を一層推進するとともに、生活総点検活動を通じて職場環境の改善を推し進めるなど、魅力ある労働諸条件の実現を労使で進めて参ります。

〈組織力の強化〉

今期の重点施策として和歌山労組の組織力を一層高めるべく、本部と支部の役割を明確にしながら、3,000 人組合員への責任をしっかり担っていこうとのスタンスを掲げました。その狙いは、日本製鉄労連の中核組織として、上部・地域団体や推薦議員との緊密な連携、労使関係の更なる構築、支部とのタイムリーな情報交換など、執行部として組織全体の統制を図ることに集中する一方、支部については、職場に直結するそれぞれのグループであり、支部長は現場の組合長であるとの矜持のもと、毎月の支部委員会での議論を踏まえ、労使対等の立場で支部長と室・工場長が緊張と信頼の関係を築きながら、職場労使委員会等を通じて組合員の期待と信頼に応えて頂くことです。

もちろん、執行部としては、ふれあい対話活動等で職場の生の声を聞かせて頂くとともに、支部長とは常に連携を図り、職場実態の把握に努めながら労働組合としての機能を充実させて参りますので、山積する課題の解決に向けて頑張って参りましょう。

〈政策実現の取り組み〉

第 49 回衆議院議員総選挙が今月下旬に執り行われます。和歌山労組が推薦決定した候補予定者の中で、特に和歌山１区では基幹労連国政フォーラム幹事長でもある「岸本周平」さん、和歌山２区では「藤井みきお」さん、それぞれに対する惜しみない支援の展開について、支部を中心とした職場の皆様にご協力をお願いする次第です。

さらに、来年７月に執行される第 26 回参議院議員選挙では、「村田きょうこ」氏を必ずや国会の場にデビューして頂くため、ＪＡＭ和歌山の皆様とも連携し全力で取り組んで参ります。村田さんのご経歴等は、ホームページやＳＮＳを通じてご確認頂けますし、お人柄は申し分なく国会議員の資質は十二分に備わっております。全組合員の絶大なるご支援を賜ります様、よろしくお願い致します。

このように、今期も多岐にわたる重要な課題へ挑戦していかなければなりませんが、その原動力の一つが青年女性部層であり女性のパワーが不可欠であります。男女共同参画の推進はもとより、ダイバーシティ＆インクルージョンの促進など、新たな時流に乗り遅れることなく、歴史と伝統ある和歌山労組の鉄鋼労働運動をベテラン層のご助言も賜りながら未来へ継承して参りましょう。

今後、脱炭素社会への動きが加速しゼロカーボン・スチールへの挑戦が求められる中、関西製鉄所和歌山地区が未来に向けて生き残るため、労働組合としても知恵を絞っていかなくてはなりません。職場を守り、組合員の雇用を守り、生活の安心・安定を実現するという大義名分のもと、コロナウイルス感染拡大防止策を継続しながら、和歌山労組の存在意義・求心力を高めていくべく、労使・直協一丸となって邁進して参りましょう。

結びとして、和歌山労組第 53 期も和歌山・堺・海南それぞれの地区において、安全環境防災を最優先に日々ご尽力を頂くとともに、まずは前半年度の組合活動に対する絶大なるご理解とご協力を賜ります様、心からお願い申し上げ、第９回定期大会開会にあたっての挨拶に代えさせて頂きます。

共に頑張りましょう。ご安全に。　※挨拶の全文については、和歌山労組 HP に掲載しています。

組合長挨拶

和歌山労組は
村田きょうこ氏を
応援しています



第1号議案「第53期運動方針に関する件（案）」に対する補強意見（要旨）

安全で健康な職場環境の確立


大形支部　萩里代議員

大形工場ではKY不足による不休業災害、クレーン関連でのヒヤリハットが発生するなど、安全な職場環境にはほど遠い状況と言わざるを得ません。毎年繰り返す熱中症対策は、コロナ禍も相まって、やっとの思いで夏場を乗り切る組合員の思いは相当なものがあり、工場の換気や冷却設備など、抜本的な対策を望んでいます。労働組合としては、このような職場の顕在する実態を今一度点検し、労使対話の場を通じた意見提起と環境改善に向けたバックアップをお願いします。

魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善


コークス支部　向井代議員

従来の構造的課題に加え、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたカーボンゼロ・スチールへの対応など、産業・企業の存続にも影響を及ぼす新たな課題が顕在化したことで、先行きの不透明感は払しょくできず、組合員は将来に不安を抱えながら業務に励んでいます。AP22春季取り組みにおいては、組合員が安心して生活を送れる回答を引き出せるよう、職場を巻き込んだ盛り上げ活動の展開はもとより、日本製鉄労連に対する組合員からの意見を積極的に提起するなど、組合員の期待に資する取り組みをお願いします。

雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化


小径製管支部　松本代議員

中長期経営計画で示された生産設備構造対策における小径シームレスライン（西）の休止は、私たち小径製管支部にとって、これまでにない衝撃的なニュースであり、より一層の不安を抱えることになりました。

そうした中、支部として最も重要だと考えているのが、組合員との対話であり、支部が主体的かつ積極的に組合員との対話を行う中で、意見集約を行い、職場労使委員会で提言、交渉し、議論していく事で、不安解消に繋げたいと思います。執行部として、職場実態の把握と、適正化が図られているかの点検等、サポートとフォローをよろしくお願いします。

組織力のさらなる強化・発揮


青年女性部　南方代議員

組織力強化の実現に向けては、「女性の活躍する場」を拡大・拡充させていくことが、会社、労働組合ともに求められています。現場で働く女性が増え、青年女性部も女性のニーズに合った活動を展開していますが、今まで以上に女性が活躍できるような場所が必要と感じています。

執行部として、和歌山労働組合の諸活動はもとより、対外的な活動の場にも女性の代表を送り出す機会をもうけて頂くことを期待するとともに、青年女性部も同様の観点で活動を展開していきますので、執行部の強力なバックアップをお願い致します。

産業政策・政策制度、生活諸課題の改善
村田きょうこ氏の必勝に向けて


薄板支部　黒岩代議員

我々鉄鋼産業の将来へ向けた成長、発展の為には、国政の場へ代表者を送り出す事が重要です。政策実現活動への理解を深める為には、「我々の代表を国政に送ることで、どんなメリットがあるのか、逆に送り出さなければどんなデメリットがあるのか」など、組合員が「見える」「納得できる」活動を展開しなければなりません。今の時代にあった支援活動を取り入れ、執行部の知恵だしのもと組合員からの意見も尊重した取り組みをお願いします。

第９回定期大会　補強意見に対する本部コメント（要旨）


黒島書記長

「安全で健康な職場環境の確立」

大きな費用が掛かるものは、優先順位をつけ対策が行われているが、進捗や実施予定時期などが開示されない場合、職場はそっぽを向いてしまう。そういったことがないよう、職場労使でしっかりと情報共有を行うようお願いします。執行部としても必要な対応と連合会との連携のもと、しっかりと「人・もの・金」をかけるよう積極的な働きかけを行っていきます。

「魅力ある労働諸条件の確立と総合的な生活の改善」

職場の意見反映はもとより、世界ナンバーワンの鉄鋼メーカーにふさわしい、賃金をはじめとした労働条件とはいったいどういうものなのか等、収益動向に一喜一憂するのではなく、そうした観点で将来ビジョンを持ったうえでＡＰの要求項目を考えていくことも重要と考えます。

「雇用基盤の確立に向けた経営対策の強化」

生産設備構造対策については、当該の職場だけではなく、会社全体が強くなるための施策です。競争力ある和歌山地区構築に向けて、慣れ親しんだ職場から離れなければならない、そうした中にあっても、日々頑張っている仲間がいるからこそ、我々の未来があるということを皆さんと共有するとともに、自職場での展開をお願いします。執行部としても、個々人の意見・思いに寄り添いながら、対話を柱に据え、支部との連携のもと、取り組みを進めていきたいと思います。

「組織力のさらなる強化・発揮」

労働組合の存在意義の発信と支部の組織力の強化については、執行部の役割発揮と支部役員を主体とした支部の運営を両輪で取り組んでいくことが求められます。支部機能強化による職場のニーズの発掘、また労働組合役員としての職場組合員への指導性発揮と、そのもとでの職場労使関係の強化が必要なことから、支部への情報の展開と共有、人材の育成に執行部として全力で取り組んでまいります。

「産業政策・政策制度、生活諸課題の改善」と「村田きょうこ氏の必勝に向けて」

カーボンニュートラルへの対応などは企業努力だけではどうにもならず、まさに私たちの生活の礎である雇用に直結する極めて重要な課題になっています。私たちの生活の安心・安定の確保、すなわち労働組合としての責任を果たすためには、政策実現活動を通じて私たちの代表を国政と地方議会に送りださなければなりません。そのため、組合員の皆さんに、政策実現活動に参画する必要性・重要性を認識していただくために、対話に重点をおいた活動を愚直に行ってまいります。

「組合会館の移転・建替え」

組合会館は、執行部の持ち物ではなく、組合員皆さんの持ち物です。将来に亘って、和歌山労組を運営していく責務がある執行部としては、現状の課題を先送りすることなく真摯に向き合い「組合会館の移転・建替え」に向けた検討を進めてまいります。その検討状況については中央委員会において報告し、そのうえでしっかりと議論を行ってまいります。

炎上する車から男性を救出し海南署から感謝状を受け取る



ステンレス支部　駒方 章二さん

９月９日午前６時半頃、通勤途中の駒方さんは、和歌山市毛見トンネル内で炎上する事故車両を目撃し、駆けつけた男性たちと共に炎上する車から男性を救出しました。

後日、その勇気ある行動に対して海南署から感謝状が贈呈されました。

海南署林署長は「尊い命を救ってくれた。感謝しています」と述べられました。

組合員投稿コーナー

今回おすすめスポットを紹介していただきました！



ご安全に！ 鋼片支部の岡室 元樹です。

私のおすすめスポットは「黒沢牧場」です。

小さい頃、親に連れて行ってもらい、食べた黒沢牧場のソフトクリームが美味しかった記憶がありました。

その記憶を思い出し、私も息子を連れて遊びに行くことにしました。

到着すると、沢山の牛が放牧されており「うし、うしー」と言って息子も楽しそうにしていました。



他にも公園で遊んだり、ソフトクリームを一緒に食べたり、大変満足している様子で連れて来て良かったなと思いました。

黒沢牧場では、芝生でのＢＢＱや、ゴルフにアーチェリー、ボートでも遊べるようなので、皆様も行ってみてはいかがでしょうか。

行かれた際には是非ソフトクリームを食べみて下さいね。